



新型の肺炎の流行で世界中が心配していますね。でも、予防の基本は、今までの感染症予防と同じです！里の子は、大変よく手洗い・うがいをしています。換気もよくしています。学校での生活はみんなで声を掛け合っています。おかげで病気等による欠席は少ないです。先週は、全校でインフルエンザによる欠席は6人だけでした。ご家庭での健康管理に感謝しています。

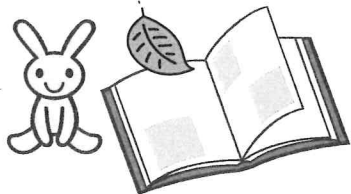


元気な里の子！ ご家庭での対策です！



保護者の皆さんにお聞きしたご家庭での感染症対策の一例です。愛情が伝わります！ご参考にどうぞ！

- 睡眠中に免疫力が上がるそうなので早く寝かせることを最優先しています。
- 乾燥を防ぐために濡れタオルを部屋の中で振り回しています。
- 湯冷めしないように寝る前にお風呂に入れます。
- 朝食には温かいものを用意しています。
- マスクをすると暖かいと言っているので毎日使っています。
- 布団が冷えていると寝つきが悪いので湯たんぽを入れています。
- 野菜たっぷりの鍋料理を食べさせることが多いです。



アウトメディアについて 話し合ってみませんか

『アウトメディア』という言葉は知っていますか？子どもたちの成長に影響を与える『電子メディア』との関わり方を考えるという取組です。

子どものゲーム時間 条例でコントロール

新聞の記事ですが、香川県が2020年3月に条例を成立させ、4月施行をめぐしています。制定されると全国初になります。「平日90分、休日3時間まで」という定めがあるそうです。また、2019年5月にはWHOがゲーム依存を『ゲーム障害』という疾患として認定しました。日本だけでなく、世界中で深刻な問題になっています。

学校で子どもたちと話しているとゲームの話題がとても多いです。「家でゲームをしたいから学校に行きたくない」という話も聞きます。他校では「ゲームの時間制限をはずさないで学校に行かない」と言って、家族で困っているという事例も聞きました。

また、香川県の時間制限の根拠は、「小中学生でスマホやゲームを1日1時間以上する人は、全くしない人に比べ、国語や算数の正答率が低い」という調査結果にあるそうです。

隣の蕨市では2011年から全市で取組を行っています。そして、今年の1月には、市内の児童生徒たちが中心になって

『蕨市インターネットのルール』を完成させました。児童生徒本人が主体となってルール作りができていたことが素晴らしいと思いました。

それぞれのご家庭で実態が違ふと思います。家の中で過ごす事が多い今の時期にお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか？ゲーム以外の過ごし方も色々ありますよ！

- ・外遊び
- ・読書
- ・プラモデル
- ・あやとり
- ・折り紙
- ・トランプ
- ・歌
- ・絵をかく
- ・ウノ
- ・パズル
- ・人生ゲーム
- ・将棋
- ・かるた
- 等々

蕨市アウトメディア宣言

子どもたちの成長に電子メディアが多大な影響をあたえていることが深刻化しており、そのかかわり方が問題となっています。そこで、電子メディアへの接触時間を減らし、未来をなう子どもたちの豊かな成長のために、蕨市として「アウトメディア宣言」を制定し、その取り組みを広げます。

- 一、乳幼児期は、特に、電子メディアとの接触をひかえましょう。
- 一、食事の時は、テレビを消して、家族がふれあう時間にしましょう。
- 一、テレビ、パソコン、ゲーム等の、使用は時間をきめましょう。
- 一、子どもに携帯電話を持たせる場合は、ルールをきめましょう。
- 一、アウトメディアで、人間愛にあふれ、こころのふれあう家庭や、地域をつくりましょう。

平成二十三年七月十六日